

大田市場で洋菜類の品質検討会が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

京浜市場の卸売会社で構成される京浜市場愛知県野菜連絡会の洋菜研究会が、2026年1月27日(火)に大田市場で洋菜類の品質検討会を開催しました。

1 品質検討会の概要

同研究会は毎年、洋菜類の出荷シーズンである1月～2月に、品質向上を目的として品質検討会を開催しています。

品質検討会には、会員8社に加え、産地のJA担当者と生産者部会の代表者も参加しました。会員の各品目担当者が審査員となり、下表6品目の主要産地からの入荷物について、品質評価(株の揃い、形状、色沢、ボリューム感など)を5段階で採点することに加え、病虫害の有無などの確認が行われました。



品質検討の様子

2 品質検討結果及び産地情勢

各品目とも全体的に品質が良く、市場流通においてクレーム対応が必要となるものではありませんでした。審査員からは産地に一層の品質管理を徹底してもらうために下表の評価が出されました。出席したJA担当者が生産者部会内で情報共有を図ることとしました。

品質検討後には、出荷産地のJA担当者から産地情勢が報告され、どの品目も生育に大きな問題はなく、現状では出荷量は例年どおりに推移しているとのことでした。

なお、ブロッコリーとカリフラワーの出荷量は、低温と乾燥の影響により1月下旬から2月上旬にかけて減少する見込みが示されました。

品質検討結果

品目	産地とサンプル数	評価結果
ブロッコリー	愛知2、埼玉1、香川1、長崎1、熊本1	<ul style="list-style-type: none"> 愛知は株の大きさや形状、着色が良く、品質が安定していた。 株の大きさの不揃い、形状の不揃い、着色が薄いもの、外葉が多いものが散見された。
カリフラワー	愛知2、静岡1、埼玉1、神奈川1、福岡1	<ul style="list-style-type: none"> 品質に問題はないが、全般的に黄色い花蕾が目立った。 一部で下位等級株の混入、量目不足、シミ、土の付着がみられた。
セルリー	愛知1、静岡1、茨城1、福岡1	<ul style="list-style-type: none"> 愛知は歩留まり、他は株のボリューム感が良かった。 株のボリュームがありすぎると歩留まりが悪くなるので、収穫遅れのないように注意が必要である。
レタス	静岡3、茨城1、栃木1、兵庫1、香川1	<ul style="list-style-type: none"> どの産地も切り口が赤くなっておらず良かった。 外葉の変色と収穫遅れが散見された。また、一部で形状の乱れとチップバーンがみられた。
サニーレタス	愛知2、静岡2、千葉1、福岡1	<ul style="list-style-type: none"> 千葉は着色バランスと外葉が綺麗で一番良かった。愛知は品質に問題はないが大きい株が目立った。 一部で株の大きさの不揃い、着色が少し薄いもの、乾燥による外葉の傷みがみられた。
グリーンリーフレタス	愛知2、静岡1、茨城1、福岡1	<ul style="list-style-type: none"> 愛知は株の大きさの揃いが良かった。 一部で着色が少し薄いもの、乾燥による外葉の傷みがみられた。

本県産の市場評価は高いため、今後の出荷量の増加に向けて、より一層の品質管理を徹底していくことが重要となります。